

急増するインドの鉄鉱石輸出

～ 2020 年には世界最大の鉄鉱石産出国に～

2006年3月27日(月)

B R I C s 経済研究所 代表 門倉 貴史

E-mail: postbrics@yahoo.co.jp

～ 要 旨 ～

インドの鉄鉱石の輸出が好調に推移している。背景には、世界最大の鉄鉱石の消費・輸入国である中国で鉄鋼の生産が増加していることがある。

現在、中国では、国内需要が盛り上がるなか、自動車や船舶を生産するための鋼板、工場やマンション、オフィスビルを建設するための建材など、各種鋼材の生産活動が活発となっている。

中国の統計によると、2005年の鉄鉱石の輸入数量は前年比 + 32.3% の 2 億 7500 万トンと急伸した。輸入数量の 40.8% をオーストラリアに、24.9% をインドに、19.7% をブラジルに頼っている。最近では、インドからの鉄鉱石の輸入が急増しており、05年は前年比 + 37% の伸びとなった。ブラジルのリオ・ドセなどが鉄鉱石の価格を大幅に値上げしているため、中国の製鉄会社は価格面で割安感のあるインドからの輸入数量を増やしている。

インフラ整備の進展でインド国内の鉄鉱石需要が盛り上ると同時に、中国を中心に世界各国からの鉄鉱石の引き合いも増加するため、インドは鉄鉱石の生産能力増強を急いでいる。インド鉄鋼開発社の試算によると、インドの鉄鋼生産量は、現在の年間 1 億 4300 万トンから 2020 年には同 8 億 6200 万トンまで拡大するという。

インド政府は、鉄鉱生産を拡大するため、外資の誘致にも積極的だ。すでにオランダのミッタル・スチールや、韓国ポスコなどがインド国内での大型製鉄所建設計画を発表している。

*** レポートの本文は会員登録されている方のみ閲覧できます。**